



第4号

1994.7



社団法人 千葉県緑化推進委員会

# FOREST STORY

# 森林のはなし

## PART II

太陽の光に青々と輝く森林。私たちの心を和ませてくれる緑。日本の森林面積は国土の約67%、2,500万haを占めています。森林は木材を提供してくれるばかりでなく、生命に無くてはならない水を蓄えたり、山の土砂の流出を防いだり、防風、防砂、なだれ防止、防潮などの天災から私たちを守ってくれます。さらに、地球の温暖化を防いだり…と、地球規模での役割も担っています。森林の大切さは、皆さん十分に理解されていることと思いますが、かけがえない自然を上手に利用して、自然と調和した生活を築くために、もっと知ってほしい森林のはなし。もう一度、森林の大切さを一緒に考えてみましょう。



## 水をはぐくむ緑のダム

水はあらゆる生物に不可欠なものです。水道の蛇口をひねると、当たり前のように水は得られますが、どうして水道の水がたゆまなく出てくるのか考えたことがありますか。日本は山の地形が複雑なため、ダムも貯水量の大きなものは造れません。雨が降っても森林がないと濡った水が一時に川へ流れ込んで、思わぬ災害を引き起こしてしまいます。逆に雨が降らない時には、森林が蓄えていた雨水を徐々に川に流します。つまり、森林がダムの役割を果たしているのです。

## 森林は地球の未来を変える

最近特にクローズアップされている地球の温暖化。重大な環境問題となっています。これは、人間が石炭や石油を使い始めて、大気中の二酸化炭素の量が急激に増加したためです。温室効果の働きをする二酸化炭素のために、地球全体の平均気温はここ100年の間に約0.5℃も上昇。このまま二酸化炭素が増えていくと2030年には、さらに1.5～4.5℃も上昇すると推定されています。気温の上昇は、地球にさまざまな悪影響を及ぼします。南極や北極の解氷にともない海水面が上昇し、世界の肥沃なデルタ地帯や、海に浮かぶ島々が水没してしまうかもしれません。それらの解決策は、光合成によって二酸化炭素を同化し、固定することのできる森林の力に頼るしかないのです。1年間に大気中に放出される約55億tの炭素を回収するには、新たに約5億haの森林が必要になってきます。ところが毎年、熱帯林が日本の約半分に匹敵する1,700万haのペースで消失しています。ですから地球規模で森林の減少をくい止め、森林を増やす努力が必要になってくるわけです。





## 演習林に学ぶ

ところで房総半島には、他県に誇れる原生林があるのをご存じですか。若津市から天津小湊にかけて広がる千葉演習林内の浅間山がそれです。千葉演習林は森林科学の研究・教育を行う目的で明治27年、政府から東京大学に交付され、わが国最初の大学演習林として創設されました。今年で100年目を迎える東大演習林は現在2,171ha。標高50～370mと山は低いのですが、地形は険しく複雑です。

回演習林は暖温帯林に属し、海岸からの距離や標高によって樹種も変わってきます。たとえば、太平洋に面する海岸の近くは自生のタブノキやスダジイ、元来は植栽されたといわれるマテバシイなどの照葉樹林。内陸の山地にはスダジイ、カシ類の常緑樹を中心にコナラ、クリ、サクラなどの落葉樹を交えた広葉樹林や、モミ、ツガといった針葉樹林が見られます。これら広葉樹天然林は40.4%、針葉樹天然林は16.4%と天然林が半分以上。幼齢林から160年の高齢林までさまざまなスギ、ヒノキの人工林は、39.8%を占めています。また、植物相の自生種は木本類が約280種、草本類が約800種と種類も豊富。それに伴い動物相も豊かで、遺伝資源の貯蔵庫としての機能も発揮しています。

一方、原生林を含む数多くの学術参考林、樹木園、内外国樹種見本林、展示林など100カ所を超える大小の試験地を演習林内に設定。環境保全に関する研究など森林科学分野の持続的なさまざまな研究・調査が行われています。また、貴重な100年にわたる膨大な資料や参考論文も保存されています。近年、植物学、動物学、地質学、薬学など多方面にわたる研究・調査の利用も増加。また、国際共同研究、研修の場として、世界的にも注目されています。

ここでは早春の花の時期から、若葉、紅葉の時期まで、四季折々に私たちの目を楽しませてくれます。清澄山系の南部は「南房総国立公園」に、北部は「千葉県立養老溪谷奥清澄自然公園」に指定され、さらに演習林全域が「清澄山鳥獣保護区」。一杯水林道と、郷台林道の一部は「首都圏自然道」（関東ふれあいの道）に、また、「21世紀に残したい日本の自然100選」にも選ばれています。県内はもとより、首都圏からも比較的距離にあるので、観光客や多くのハイカーが訪れます。森の中には植物と一緒に多くの生き物が生活しています。落ち葉を食べて土を豊か、植物のための養分を作る土壌動物。木の葉を食べる昆虫たち。その虫や植物の実を食べる小鳥たち。小鳥は木の実を運んで新しい緑づくりを手伝ってくれます。一方でヤマビルやマムシも共存。危険を伴うので注意が必要です。

## 明日の緑を育てるために



こうして、先人たちの努力で守り育ててきた森林からは、多くのことが学べます。長年培われてきた自然の生態系は、崩すことなく守らねばなりません。まだまだ森林問題だけでも多くの課題が山積みされ、安易な言葉で締めくくれるものではありません。ただ私たちにできることといえば、一人ひとりが森林の大切さを認識すること。森林を守らねばならないことに使命感を持つことです。そして、自然に触れ合える場に出かけた時は、ルールを守り、モラルは必ず守って欲しいと願っています。



監修 東京大学農学部附属演習林  
千葉演習林長 教授 大里 正一

千葉の散歩道

## 手賀沼 親水広場

(我孫子市)



# 遊びながら水の 大切さを実感しよう!

手賀沼親水広場は手賀沼のほとりにあり、広さは3.3haもあります。敷地内には広場と「水の館」があり、遊びや映像を通して、水の大切さ、水と人とのつながりを実感できるようになっています。中でも子供たちに人気ののが水の広場。水鉄砲や水車、噴水など、実際に水に触れて、遊びながら、水に親しむ仕掛けになっていますが、これが結構ハードで、大人でも十分楽しめます。

水の館の中の人気コーナーは、マルチスライドを使っているエコロジーシアターや、立体映像で見るファンタビューシアター。3階のプラネタリウムは休日ともなると行列ができるほどです。

この春から広場に仲間入りしたモニュメント「天泉」は、13tもある大理石の塊。夜にはライトアップされて、とってもムーディーです。夏の日、水に親しんで、水の大切さを再確認してみませんか。



■交通 / JR我孫子駅からバス、我孫子市役所前下車徒歩3分。／車の場合、国道16号犬島田交差点を我孫子方向へ入り、手賀大橋を渡って右折、すぐ。また、国道6号からは柴崎インターを手賀沼方向へ曲り、市役所を過ぎて左折、すぐ。

■開園時間 / 午前9時～午後4時30分

■休園日 / 月曜日(休日の場合は火曜日)

■入園料 / 無料

■手賀沼親水広場 0471-84-0555



3月12日(土)、くもり。「平成5年度第3回県民参加のみどりづくり」の作業も、いよいよ植林です。場所は市原市鶴舞県有林(県立鶴舞自然公園内)。これまでの下刈、枝打ち作業と違う点は、実際に生命を植え込むということ。楽しさもひとしおです。

まずは4班に分かれて植え方の説明を聞きます。「山の南斜面にはヤマボウシ、北斜面にはヤマザクラを植えます。穴は20cmくらい掘り、根は横になるように。命の分身を植える気持ちで丁寧に…。指導員の先生の説明が終わるや否や、手に手に苗木を持って150人の参加者がサッと山に散ります。足場の悪さもなんのその。1人2本という割り当てはあっという間に終了。もっと植えた〜い、なんていう声も。最後に、自分で植えた苗木に名札を付けて、みんなの顔が満足感でいっぱいになりました。

作業後、シイタケの植菌作業も体験。また自動枝打ち機の実演では、そのユーモラスで真面目な仕事っぷりに全員感嘆。子供たちから「木の床屋さんだ」発言が飛び出すと、参加者同志の談笑も始まり、自然の中での作業の楽しさを述べあっていました。

※次回「平成6年度第1回県民参加のみどりづくり」は8月に開催します。たくさんの方々の参加をお待ちしています。詳しくは8ページをご覧ください。

# いい汗、かいたなあ！ PART 3 体験しました、植林作業



◀ ヤブコウジ見つけた！ 実が大きいね



▲ 参加者最高齢の田村さんとお仲間のみなさん。「水は命の源。その水を守るためにも森を守りたい」との弁。元気も一番でした



▲ ウエアもきめて参加の赤坂さんファミリー。「植えるのは大変だけど、また来た時には大きな木になっているといいな」と娘ちゃん。時々見に来てね

◀ 毎回参加の田邊さん。「掘っていたら植物の芽がもう出ているね。土が生きているって実感したよ」



◀ 自動枝打ち機の仕事っぷりに、思わず見とれて



▲ 3年もすれば、この山は、桜とヤマボウシの咲く山に

緑

自

慢

## グリーンキャンパス

昭和34年、長南町の4校の中学校が統合し、創立した長南町立長南中学校。在校生444人。ナラ、杉、クヌギなどの山々に囲まれ、水田の稲は青々と元気、緑におおわれ、自然あふれる学校です。

長南は農業の町。大半の生徒の家庭が兼業農家です。小さい頃から自然に親しみ、守り育てる心は人一倍強いようです。教師と生徒が一体となって、自主的に行われる校庭の芝刈り作業。武内克二校長先生の率先で行われた桜草の一人1鉢運動は、卒業式に立派な花を咲かせました。オリエンテーリングで

## Part. 3 ●長南町立長南中学校

は、外部から持ち込まれた空き缶やゴミの清掃にも取り組んでいます。また、環境委員会で組織されているみどりの少年団の活動も目覚ましく、昭和60年度の全国少年団活動発表会では、農林水産大臣賞と、文部大臣賞を受賞。ほかにも、自然によって育まれた感性は素晴らしい成果を残しています。

学校の隣りにある町営の「B & G財団長南海洋センター」。体育館、柔剣道場、プールと整った施設を借りて、のびのびと生徒たちは運動に励んでいます。生徒の大半の親が長南中学の卒業生。町ぐるみの暖かい視線を感じます。ところで、昭和62年の東方沖地震は、長南中学にも大きな爪跡を残しました。学校の裏の100年山が地滑りを起こしたのです。明治100年を記念して作られた展望台は、茂原市内や外房が一望できる生徒たちのいこいの場所でした。自然林に覆われた山は学習の場、トレーニングの場でした。今はまだ100年山には登れません。でも、学校を取り囲む130本の枯れる一方の松が、町の方で元気に甦ったように、新たな展開が望めそうです。

「こんなに、恵まれた生徒たちはいない」と、校長先生の暖かい笑顔。先生方のご尽力と、町ぐるみの大きな援助。そして、緑あふれる自然。大地に育つ若葉は、真っ直ぐ元気に伸びています。



「ピーターラビットの隠仕事」  
ビアトリクス・ポター 画  
ジュニー・ウォルターズ 文

ピーターラビットとその仲間たちのお話しには、たくさん庭や庭師が登場します。もちろん、庭がなくても暖かい日の当たる窓際の植木鉢で、植物を育てることはできます。さあ、ピーターラビットと一緒に、ハーブやトマトを育ててみましょう！

福音館書店 定価1,000円(本体971円)



「森の草花」  
長谷川 哲雄 作

春から夏にかけて芽吹き、葉を茂らせる落葉広葉樹林。森に咲く草花は、季節のうつろいで変わる森の中の明るさと、深くかかわっています。まだ残っている森や雑木林に、ちょっと足を伸ばしましょう。森の中が、どれほど彩り豊かで気持ちのいい場所かを、この本を手掛かりに感じ取ってください。

岩崎書店 定価1,300円(本体1,262円)

※左記の本を抽選で各2名の方々にプレゼントします。官製ハガキに希望の著書名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、(社)千葉県緑化推進委員会「プレゼント係」へ、ご応募ください。宛て先は8ページの右下参照。締め切りは8月31日(消印有効)。当選者は次号(№5)で発表します。

なお、前回(№3)のプレゼントは、「やまからにげてきたゴミをばいばい」が八街市・早乙女 碧さんに、「ブナの森は緑のダム」が千葉市・寺本宗司さんに決まりました。おめでとうございます。

この本……  
オススメします。

「みどり通信」  
マイシャッターチャンス



’91年8月、君津市・錦石(徳川)で撮影

四街道市・近藤 茂夫さん(50)  
「ハンミョウ」

よく人の歩く前を飛ぶので、別名「みちおしえ」とも呼ばれています。私が中学生の頃は山道でよく見かけたのですが、最近ではとても少なくなりました。色彩豊かなハネと、濃い青緑色の金属光沢を持つ腹部。夏の木洩れ日に反射させながら低く飛翔する姿は、幻想的なものがあります。

「グリーンえっせんす」では、県内の緑(自然)をテーマに、県民の方が撮影したカラー写真(サイズは問いません)を募集しています。作品はプリント、ネガ・スライドフィルムなど何でも結構です。撮影日時、場所、コメントなどを書き添えてお送りください。詳しくは8ページの「みどり通信」原稿募集をご覧ください。

# 企業の中の緑

大日本インキ化学工業株式会社総合研究所  
川村記念美術館



佐倉市にある大日本インキ化学工業株式会社総合研究所は、カーボンファイバーや光ディスクといった総合科学分野の先端技術の開発をしているところです。世界をリードする日本の科学技術が、ここ千葉県の佐倉市から生まれているのです。でも、一般になじみ深いのは隣接する川村記念美術館。大日本インキ化学工業が、その関連グループ会社とともに蒐集してきた美術品を、広く公開するための施設として、平成2年にオープンしました。収蔵作品は800点以上。レンブラントの人物画や長谷川等伯の屏風絵など、数々の貴重な作品が展示されています。

この2つの施設の敷地面積はおおよそ30ha。広い敷地の中では、300人の研究員と美術スタッフが働いています。研究所の建設に伴い、地形は一部改変されましたが、できるだけ自然を残そうという設計思想だったため、敷地のおよそ7割は昔のままの雑木林として残されました。川村記念美術館を訪れるたびに感動していた美しい緑の風景は、実は自然と人の叡智との見事なコンビネーションだったのです。敷地内にある樹種は600種、樹木は250種に上ります。



樹木で多いのはイヌシデ、コナラ、スギなどで、敷地内を散策すると、武蔵野にいたような気分になります。一方、植物の中にはイワヘゴ、クサナギオゴケ、サガミランモドキといった、学術上重要なものも含まれています。

ここでは、緑はもちろん、さまざまな花が年間を通して目を楽ませてくれます。なかでも7月以降に咲くヤマユリは圧巻です。木陰に3,000株以上も群生し、1株あたり120個もの花をつけるというのですから。「もともとここにあったもので、後から植えたわけではないのです。私たちは支柱を立て、殺虫してあげるだけ。手入れはほとんどしていません」とおっしゃる緑環境保全担当の山口さん。とはいえ、幻のランといわれるサガミランモドキを発見したのも、実は山口さん。敷地内の生命への、たえまぬ目配りと愛情なくしては、この発見も、見事な緑も有り得ないのではないのでしょうか。

大日本インキ化学工業株式会社・川村記念美術館は、緑の保全に貢献し、美術館の年間利用者15万人に対して緑と自然の大切さを強く訴え、緑の重要性の普及・啓蒙に尽力した功績により、第45回千葉県郷土緑化県民大会緑化功労賞を受賞しています。



写真提供/山口 光さん

## 森林・緑化基金 寄附金ありがとうございました。

- 神中佐土建工業
- 株加瀬造園
- 株若津特殊
- 京葉緑化工事株
- 「環境緑化センター」基金箱
- 木内土木株
- 千葉緑化土木株
- 株富田工務店
- 株吉谷建設興業株
- 株八角工務店
- 中央建設株(成東町)
- 三総建設株
- 株山口土建
- 株古清工業
- 株石井土建
- 富田田森株組合
- 株土建株
- 株松崎土木
- 株山崎園
- 株川名工務店(君津市)
- 株長谷川建設
- 株香取市森林組合
- 株山本建設株
- 株長生市森林組合
- 株船橋市森林組合
- 株柳田村工務店
- 株柳田村工務店
- 「ちばぎんみどりの口座」加入者
- 千葉県森林組合連合会
- 千葉県特別林産振興会
- 「大多喜郡民の森」基金箱
- 株千葉銀行
- 株千葉県山道協会
- 千葉県山林種商緑化本協同組合
- 株吉野造園株
- 株石渡工務店
- 「安房支庁産業課」基金箱
- 株川市森林組合
- 株ケケ浦市森林組合
- 株神奈川環境研究所千葉県倫理法人会
- 株市原市森林組合
- 株寄付者総数41
- ※平成6年1月から3月まで
- ※期間不同、敬称は略させていただきます

## 国土緑化運動ポスター原画コンクールの実施

本委員会では、緑化思想の普及と啓発を図るため、国土緑化運動ポスターの原画を募集します。昨年は、県下261の小・中学校から7,953点もの応募があり、数々の素晴らしい作品が生まれています。

なお、優秀作品は、(社)国土緑化推進機構が主催する全国コンクールに推薦します。

■応募対象 県内の小・中学校に在学中の児童生徒  
(ただし、応募は学校単位)

■回 柄 図柄は自由とするが、国土緑化の意を表わし、特に植樹及び森林・樹木の保護保育または環境緑化の意欲の高揚を強調したもの(図案中に文字を一切挿入しないこと)

■用 紙 四つ切り画用紙、縦書き

■主 催 (社)千葉県緑化推進委員会

■後 援 千葉県・千葉県教育委員会・  
千葉県日报社

■問い合わせ先 本委員会まで

## 第1回県民参加のみどりづくりの開催

県では、県民の皆様にも県内の緑を知っていただき、郷土のみどりづくりに積極的に参加いただくために、昨年度にひきつづき本年度も、次のとおり「平成6年度第1回県民参加のみどりづくり」を開催します。今回は、背丈ほどにも伸びた雑草の下刈り作業。植林後の、保育のための大切な作業です。おいしい空気とあふれる緑を深呼吸。一緒に汗を流しませんか。

■日 時 8月21日(日) 午前10時から  
午後2時まで(小雨決行)

■会 場 千葉市若葉区高根町地内

■内 容 下刈り作業に2時間程度従事

■定 員 50名

■参加費 無 料

■文 通 JR千葉駅から送迎バスを出します

■資 格 経験は問いません。高校生以上のどなたでも参加できます

■申込期限 8月12日(金)までに電話で申し込んでください

■申込・問い合わせ先 千葉県庁みどり推進室

☎ 043(223)3684

## 「みどり通信」原稿募集

「グリーンえっせんず」は、もっと皆様とのコミュニケーションの輪を広げようと「みどり通信」のコラムを作りました。マイ・シャッターチャンスや、次のミニコラムの原稿(未発表)を募集しています。

### ◆我が家の緑は家族の一員

家族で、大切に育てている植物をご紹介ください。植物の名前、大きさ、年数、育て方、コメントなどを書き、写真を添えてお送りください。

### ◆緑白儘(私の町の緑)

あなたがお住まいの町並みの街路樹、近くの公園の木、古木など身の回りにある緑をご紹介ください。

あて先は、下記の(社)千葉県緑化推進委員会「みどり通信」係へ。住所、氏名、年齢、電話番号、コラム名もお忘れなく。掲載させていただいた方には、(社)千葉県緑化推進委員会のオリジナルテレホンカードを差し上げます。

ほかにも、緑に関する情報、質問、ご意見などがありましたら、どしどしお寄せください。



### ●季節の花・ホタルブクロ●

子供が花の中に蛭を入れ虫籠がわりにしたという説と、提燈のことを火垂といったことから名前がついたという説がある。ツリガネソウ、チョウチンバナなどの別名もある。白色から赤紫色で、キキョウ科の多年草。うつむきながらひっそり咲いている姿はファンタジックだ。

「蛭袋は愁いの花か上向かず」—鈴木真砂女—

写真提供/杉原 善之さん

### 表紙の絵

表紙の作品は、平成5年度国土緑化運動ポスター原画コンクールにおいて、小学校低学年の部で千葉県知事賞を受賞した、柏市立名戸ヶ谷小学校1年・宇佐見寛史くんの作品です。また、この作品は、(社)国土緑化推進機構主催の全国コンクールにおいても、農林水産大臣賞を受賞しました。



## グリーンえっせんず 第4号

1994年7月1日発行

発行/(社)千葉県緑化推進委員会

〒260 千葉市中央区長洲1-9-22 森林会館

TEL 043(225)3181 FAX 043(225)3255

編集/凸版印刷株 TEL 043(245)7071

この広報誌は、再生紙を使用しています。